

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2006-122512(P2006-122512A)
 【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)
 【年通号数】公開・登録公報2006-019
 【出願番号】特願2004-317133(P2004-317133)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 E
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成19年6月13日(2007.6.13)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項1】

所定の払出条件が成立したことに基づいて景品として遊技媒体を払い出す払出手段と、
 所定の演出条件が成立したことに基づいて所定の演出を実行する演出手段と、を備えた遊
 技機において、

遊技の進行を制御する遊技制御マイクロコンピュータと、
 前記遊技制御マイクロコンピュータを搭載した遊技制御基板と、
 前記遊技制御マイクロコンピュータから送信される制御コマンドに基づいて、前記払出
 手段による遊技媒体の払い出し動作を制御する払出制御マイクロコンピュータと、
 前記払出制御マイクロコンピュータを搭載した払出制御基板と、
 前記払出手段における払い出し動作量を検出する払出動作量検出手段と、
 前記払出手段から払い出された遊技媒体を検出する払出遊技媒体検出手段と、
 前記払出手段による遊技媒体の払い出し動作を停止すべき払出停止条件が成立したこと
 を検出する払出停止条件成立検出手段と、

前記遊技制御マイクロコンピュータから送信される制御コマンドに基づいて、前記演出
 手段による演出を制御する演出制御マイクロコンピュータと、
 前記演出制御マイクロコンピュータを搭載した演出制御基板と、
 前記遊技制御基板から前記演出制御基板に出力する制御信号を中継する中継手段が設け
 られた中継基板と、
 を備え、

前記遊技制御マイクロコンピュータは、
 前記所定の払出条件が成立したことに基づいて、前記払出手段から景品として払い出さ
 れる遊技媒体の個数を特定可能な払出制御コマンドを前記制御コマンドとして前記払出制
 御基板に送信する払出制御コマンド送信手段を含み、

前記払出制御マイクロコンピュータは、
 前記払出制御コマンド送信手段が送信した払出制御コマンドを受信する払出制御コマ
 ンド受信手段と、

前記払出制御コマンド受信手段が受信した前記払出制御コマンドにより特定される遊技
 媒体の個数の総和を示す総景品個数データを記憶する総景品個数データ記憶手段と、

前記払出手段により払い出される遊技媒体の個数に基づく払出動作量データを記憶する払出動作量データ記憶手段と、

前記総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データに基づいて払出動作量データを前記払出動作量データ記憶手段に設定する払出動作量データ設定手段と、

前記払出動作量データ設定手段により払出動作量データが設定された場合に、前記払出手段を制御して、遊技媒体の払い出し動作を開始させる払出動作開始制御手段と、

前記払出動作量検出手段による払い出し動作量の検出に応じて、前記払出動作量データ記憶手段に記憶されている払出動作量データの値を減算する払出動作量データ減算手段と、

前記払出遊技媒体検出手段による遊技媒体の検出に応じて、前記総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データの値を減算する総景品個数データ減算手段と、

前記払出動作量データ減算手段により減算された払出動作量データの値が所定の終了値と合致するか否かを判別する払出動作量データ判別手段と、

前記払出動作量データ判別手段により払出動作量データの値が前記所定の終了値と合致すると判別されたときに、前記払出手段を制御して、遊技媒体の払い出し動作を停止させる払出動作停止制御手段と、

前記払出動作停止制御手段により遊技媒体の払い出し動作が終了された後に、待機期間が経過した後に前記総景品個数データ減算手段により減算された総景品個数データの値が前記所定の終了値と合致するか否かを判別する総景品個数データ判別手段と、

前記総景品個数データ判別手段により総景品個数データの値が前記所定の終了値と合致しないと判別されたとき、前記払出手段を制御して、遊技媒体の払い出し動作を再開させる払出動作再開制御手段と、

前記総景品個数データ判別手段により総景品個数データの値が前記所定の終了値と合致すると判別されたとき、一連の払い出し動作の制御を終了する払出動作制御終了手段と、

前記払出動作開始制御手段による払い出し動作の開始から前記払出動作制御終了手段が一連の払い出し動作の制御を終了するまでの間に、前記払出制御コマンド受信手段が払出制御コマンドを受信したことに応じて、該受信した払出制御コマンドで特定される遊技媒体の個数を、総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データの値に加算する遊技媒体個数加算手段と、

前記総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データの値が増加したか否かを判別する総景品個数データ増加判別手段と、

前記総景品個数データ増加判別手段により総景品個数データの値が増加したと判定されたとき、前記遊技媒体個数加算手段が加算した遊技媒体の個数を特定する遊技媒体個数特定手段と、

前記遊技媒体個数特定手段により特定された遊技媒体の個数に応じて、前記払出動作量データ記憶手段に記憶されている払出動作量データを更新する払出動作量データ更新手段と、

前記払出停止条件成立検出手段により払出停止条件の成立が検出されたことに基づいて、遊技媒体の払い出し動作を停止させる払出停止条件成立停止制御手段と、

前記払出停止条件成立検出手段により払出停止条件の成立が検出されたことに基づいて、払出停止信号を前記遊技制御マイクロコンピュータに送信する払出停止信号送信手段と、

、
を含み、

前記遊技制御マイクロコンピュータは、さらに、

前記払出停止信号送信手段から送信される払出停止信号を受信する払出停止信号受信手段と、

前記払出停止信号受信手段が受信した払出停止信号に基づいて、前記演出手段により払出停止を報知することを指令する演出制御コマンドを前記制御コマンドとして前記演出制御マイクロコンピュータに送信する演出制御コマンド送信手段と、

を含み、

前記演出制御マイクロコンピュータは、

前記演出制御コマンド送信手段が送信した演出制御コマンドを受信する演出制御コマンド受信手段と、

前記演出制御コマンド受信手段が前記演出制御コマンドを受信したことに基づいて、前記演出手段を制御して、前記払出手段による遊技媒体の払い出し動作が停止していることを報知する演出を実行させる払出停止報知演出制御手段と、

を含む、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するため、本願の請求項1に記載の遊技機は、所定の払出条件（例えば遊技球の入賞領域への入賞）が成立したことに基づいて景品として遊技媒体（例えば賞球）を払い出す払出手段（例えば払出装置50）と、所定の演出条件（例えば遊技球の普通可変入賞球装置6への入賞）が成立したことに基づいて所定の演出（例えば飾り図柄の可変表示）を実行する演出手段（例えば可変表示装置4）と、を備えた遊技機（例えばパチンコ遊技機1）において、遊技の進行を制御する遊技制御マイクロコンピュータ（例えば遊技制御用マイクロコンピュータ110）と、前記遊技制御マイクロコンピュータを搭載した遊技制御基板（例えば主基板11）と、前記遊技制御マイクロコンピュータから送信される制御コマンドに基づいて、前記払出手段による遊技媒体の払い出し動作を制御する払出制御マイクロコンピュータ（例えば払出制御用マイクロコンピュータ150）と、前記払出制御マイクロコンピュータを搭載した払出制御基板（例えば払出制御基板15）と、前記払出手段における払い出し動作量を検出する払出動作量検出手段（例えば払出モータ位置センサ71）と、前記払出手段から払い出された遊技媒体を検出する払出遊技媒体検出手段（例えば払出カウントスイッチ72）と、前記払出手段による遊技媒体の払い出し動作を停止すべき払出停止条件（例えば満タン状態又は球切状態）が成立したことを検出する払出停止条件成立検出手段（例えば満タンスイッチ73や球切れスイッチ74）と、前記遊技制御マイクロコンピュータから送信される制御コマンドに基づいて、前記演出手段による演出を制御する演出制御マイクロコンピュータ（例えばCPU200など）と、前記演出制御マイクロコンピュータを搭載した演出制御基板（例えば演出制御基板12）と、前記遊技制御基板から前記演出制御基板に出力する制御信号を中継する中継手段が設けられた中継基板（例えば中継基板18）と、を備え、前記遊技制御マイクロコンピュータは、前記所定の払出条件が成立したことに基づいて、前記払出手段から景品として払い出される遊技媒体の個数を特定可能な払出制御コマンド（例えば賞球個数指定コマンド）を前記制御コマンドとして前記払出制御基板に送信する払出制御コマンド送信手段（例えばCPU113がステップS133及びS134の処理を実行する部分）を含み、前記払出制御マイクロコンピュータは、前記払出制御コマンド送信手段が送信した払出制御コマンドを受信する払出制御コマンド受信手段（例えばCPU153がコマンド受信割込処理を実行する部分）と、前記払出制御コマンド受信手段が受信した前記払出制御コマンドにより特定される遊技媒体の個数の総和を示す総景品個数データを記憶する総景品個数データ記憶手段（例えば加算後賞球個数カウンタ163）と、前記払出手段により払い出される遊技媒体の個数に基づく払出動作量データを記憶する払出動作量データ記憶手段（例えば払出動作量カウンタ162）と、前記総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データに基づいて払出動作量データを前記払出動作量データ記憶手段に設定する払出動作量データ設定手段（例えばCPU153がステップS586や、S599の処理、或いはステップS1587や、S1588、S1607、S1608の処理を実行する部分）と、前記払出動作量データ設定手段により払出動作量データが設定された場合に、

前記払出手段を制御して、遊技媒体の払い出し動作を開始させる払出動作開始制御手段（例えばCPU153がステップS587の処理や、S1590の処理を実行する部分）と、前記払出動作量検出手段による払い出し動作量の検出に応じて、前記払出動作量データ記憶手段に記憶されている払出動作量データの値を減算する払出動作量データ減算手段（例えばCPU153がステップS504の処理を実行する部分）と、前記払出遊技媒体検出手段による遊技媒体の検出に応じて、前記総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データの値を減算する総景品個数データ減算手段（例えばCPU153がステップS510の処理を実行する部分）と、前記払出動作量データ減算手段により減算された払出動作量データの値が所定の終了値（例えば「0」）と合致するか否かを判別する払出動作量データ判別手段（例えばCPU153がステップS594の処理や、ステップS1601の処理を実行する部分）と、前記払出動作量データ判別手段により払出動作量データの値が前記所定の終了値と合致すると判別されたときに（例えばCPU153がステップS594の処理にてYesと判定したときや、ステップS1601の処理にてYesと判定したときに）、前記払出手段を制御して、遊技媒体の払い出し動作を停止させる払出動作停止制御手段（例えばCPU153がステップS595の処理や、ステップS1602の処理を実行する部分）と、前記払出動作停止制御手段により遊技媒体の払い出し動作が終了された後に、待機期間が経過した後に前記総景品個数データ減算手段により減算された総景品個数データの値が前記所定の終了値と合致するか否かを判別する総景品個数データ判別手段（例えばCPU153がステップS598の処理や、ステップS1605の処理を実行する部分）と、前記総景品個数データ判別手段により総景品個数データの値が前記所定の終了値と合致しないと判別されたとき（例えばCPU153がステップS598の処理にてNoと判定したときや、ステップS1605の処理にてNoと判定したとき）、前記払出手段を制御して、遊技媒体の払い出し動作を再開させる払出動作再開制御手段（例えばCPU153がステップS602の処理や、ステップS1611の処理を実行する部分）と、前記総景品個数データ判別手段により総景品個数データの値が前記所定の終了値と合致すると判別されたとき（例えばCPU153がステップS598の処理にてYesと判定したときや、ステップS1605の処理にてYesと判定したとき）、一連の払い出し動作の制御を終了する払出動作制御終了手段（例えばCPU153がステップS603の処理や、ステップS1613の処理を実行する部分）と、前記払出動作開始制御手段による払い出し動作の開始から前記払出動作制御終了手段が一連の払い出し動作の制御を終了するまでの間に、前記払出制御コマンド受信手段が払出制御コマンドを受信したことに応じて、該受信した払出制御コマンドで特定される遊技媒体の個数を、総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データの値に加算する遊技媒体個数加算手段（例えばCPU153がステップS554の処理を実行する部分）と、前記総景品個数データ記憶手段に記憶されている総景品個数データの値が増加したか否かを判別する総景品個数データ増加判別手段（例えばCPU153がステップS590の処理や、ステップS1594の処理を実行する部分）と、前記総景品個数データ増加判別手段により総景品個数データの値が増加したと判定されたとき（例えばCPU153がステップS590の処理にてNoと判定したときや、ステップS1594の処理にてNoと判定したとき）、前記遊技媒体個数加算手段が加算した遊技媒体の個数を特定する遊技媒体個数特定手段（例えばCPU153がステップS591の処理や、ステップS1595の処理を実行する部分）と、前記遊技媒体個数特定手段により特定された遊技媒体の個数に応じて、前記払出動作量データ記憶手段に記憶されている払出動作量データを更新する払出動作量データ更新手段（例えばCPU153がステップS592の処理、或いはステップS1598や1599の処理を実行する部分）と、前記払出停止条件成立検出手段により払出停止条件の成立が検出されたことに基づいて（例えばCPU153がステップS532の処理にてYesと判定したことに基づいて）、遊技媒体の払い出し動作を停止させる払出停止条件成立停止制御手段（例えばCPU153がステップS533の処理を実行する部分）と、前記払出停止条件成立検出手段により払出停止条件の成立が検出されたことに基づいて（例えばCPU153がステップS542の処理にてYesと判定したことに基づいて）、

払出停止信号（例えばエラー指定コマンド）を前記遊技制御マイクロコンピュータに送信する払出停止信号送信手段（例えばCPU153がステップS544及びS545の処理を実行する部分）と、を含み、前記遊技制御マイクロコンピュータは、さらに、前記払出停止信号送信手段から送信される払出停止信号を受信する払出停止信号受信手段（例えばCPU113がコマンド受信割込処理を実行する部分）と、前記払出停止信号受信手段が受信した払出停止信号に基づいて、前記演出手段により払出停止を報知することを指令する演出制御コマンドを前記制御コマンドとして前記演出制御マイクロコンピュータに送信する演出制御コマンド送信手段（例えばCPU113がステップS153及びS154の処理を実行する部分）と、を含み、前記演出制御マイクロコンピュータは、前記演出制御コマンド送信手段が送信した演出制御コマンドを受信する演出制御コマンド受信手段（例えばCPU200がコマンド受信割込処理を実行する部分）と、前記演出制御コマンド受信手段が前記演出制御コマンドを受信したことに基づいて、前記演出手段を制御して、前記払出手段による遊技媒体の払い出し動作が停止していることを報知する演出を実行させる払出停止報知演出制御手段（例えばCPU200がステップS54のエラー処理を実行する部分）と、を含む、ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項1に記載の構成によれば、払出制御マイクロコンピュータは、払出手段による遊技媒体の払い出し動作中であっても、払い出し動作を中断することなく、払出動作量データ記憶手段に記憶されている払出動作量データの値を、受信した払出制御コマンドにより特定される遊技媒体の個数に応じて更新することができるため、迅速な払い出し動作の実現が可能となる。

また、払出制御マイクロコンピュータは、払出動作量データの値が所定の終了値と合致したとき、払出手段による遊技媒体の払い出し動作を停止させ、待機時間経過後の総景品個数データの値が所定の終了値と合致していれば、払出手段から遊技媒体が過不足なく払い出されたものと判断して、一連の払い出し動作を終了させる。他方、総景品個数データの値が所定の終了値と合致していないときには、未払い出しの遊技媒体があるものと判断して、払出手段による遊技媒体の払い出し動作を再開させる。そして、総景品個数データの値が所定の終了値と合致したときに、払出手段から遊技媒体が過不足なく払い出されたものと判断して、一連の払い出し動作を終了する。

このように、払出制御マイクロコンピュータは、総景品個数データの値に対応する個数の遊技媒体が払出遊技媒体検出手段によって検出されたときに払出手段の払い出し動作を停止するのではなく、設定した払出動作量データの値が示す払出動作量が払出手段によって行われたときに、この払い出し動作を停止するので、払出手段から遊技媒体が過剰に払い出されることを防止することができる。さらに、総景品個数データの値が所定の終了値と合致していないとき、即ち未払い出しの遊技媒体があるときには、払出手段による遊技媒体の払い出し動作が再開されるため、払出手段から払い出される遊技媒体が不足することも防止することができる。

このようにして、請求項1に記載の遊技機は、払出手段から景品として払い出される遊技媒体の個数を正確に管理することができる。